

## 平成20年度の改善方策について実行した改善結果

世田谷区立二子玉川小学校

校長 小宮 豊

### 重点1 学校外部評価の中から設定した項目

(1) あいさつ運動への取り組みを年間通じて意識を高める。

20年度の課題：関係者アンケートによる「あいさつがよくできている」の肯定的評価60%が目標であったが、58%と目標値に達しなかった。

#### <21年度に実行した改善結果>

毎月最終週の生活指導目標の重点として、取り組んできた。21年度は、校長の校門での毎朝のあいさつの実施と、三校合同あいさつ運動の実施内容の充実を図った。

その結果、校長の校門での毎朝のあいさつの実施、重点目標の自信をもたせる活動のひとつとしてあいさつをあげた成果として、肯定的評価を64%にすることができた。

(2) 学校施設の安全性を高める。

20年度の課題：関係者アンケートによる「学校施設の安全性の確保」の肯定的評価45%を60%へ高めることが目標であったが、55%と目標値に達しなかった。

#### <21年度に実行した改善結果>

毎月の安全点検に、低学年・中学年・高学年で点検する方法をとり、危険箇所は改善するまで使用禁止にした。また、改善箇所の優先順位を明確にし、施設の改善を図った。

その結果、肯定的評価を69%とすることができた。

### 重点2 校長として自校の課題から設定した項目

◎ 校務分掌の事案決定の仕組みを定着させる。

20年度の課題：担当者→各種委員会→運営委員会という流れで事案を検討させたが、運営委員会での検討事項が多く、時間がかかった。

#### <21年度に実行した改善結果>

担当者の原案を管理職が指導し、事案の精度と会議時間の短縮を高めた。(担当者→管理職→各種委員会→運営委員会) 運営委員会に学年主任を加え、運営委員会の内容を各学年部・専科部に伝えるシステムにし、職員会議での職員への周知時間の短縮を図った。

その結果、職員会議の内容の充実と時間短縮を図ることができた。

重点3 所属職員の育成、学校組織作りの観点から設定した項目

- ◎ 2年次～4年次教諭の研修への参加促進、キャリアプランの計画を補充していく。  
20年度の課題：自己申告の面接時、授業観察後に随時研修を行ったが短時間であった。

< 21年度に実行した改善結果 >

全教員に年間3回の授業観察及び指導を行った。また、自主研修会を2回行った。  
その結果、教員の授業力向上を目指す意識を高めることができた。

重点4 教科「日本語」の授業充実のための項目

- ◎ 教科「日本語」の指導法の研修並びに評価の工夫

20年度の課題：日本語担当教員の研修内容の伝達、学校公開時の日本語授業公開、各学年分科会での評価の検討、3年生の研究授業を行い、指導方法の充実に努めた。

< 21年度に実行した改善結果 >

日本語担当教員の研修伝達、教科「日本語」カリキュラムの10の柱の理解、学校公開時の教科「日本語」授業公開、各分科会での指導案検討を進めた。

その結果、特に言葉の大切さに気付かせること、言葉を通して深く考えさせることに意識をおいた授業を展開することができた。